

分野	項目	内訳	単位	セキュリティ事業グループ ※1		
				2017年度	2016年度	2015年度
環境	温室効果ガス (GHG) 排出量	GHG総排出量(スコープ1+2+3)	千t-CO <sub>2</sub> e	534.01	533.15	405.00
		GHG排出量(スコープ1+2)	千t-CO <sub>2</sub> e	76.75	81.51	54.70
		GHG排出量スコープ1(直接排出)	千t-CO <sub>2</sub> e	44.08	44.48	26.76
		うち二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	千t-CO <sub>2</sub>	43.10	43.64	25.89
		うちメタン(CH <sub>4</sub> )	千t-CO <sub>2</sub> e	0.05	0.03	0.03
		うち一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)=亜酸化窒素	千t-CO <sub>2</sub> e	0.91	0.75	0.77
		うちハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	千t-CO <sub>2</sub> e	0.02	0.05	0.07
		うちパーフルオロカーボン類(PFCs)	千t-CO <sub>2</sub> e	0.00	0.00	0.00
		うち六フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	千t-CO <sub>2</sub> e	0.00	0.00	0.00
		うち三フッ化窒素(NF <sub>3</sub> )	千t-CO <sub>2</sub> e	0.00	0.00	0.00
		GHG排出量スコープ2(間接排出)	千t-CO <sub>2</sub> e	32.67	37.03	27.94
	うち二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	千t-CO <sub>2</sub>	32.67	37.03	27.94	
	GHG排出量スコープ3(社外における間接排出)	千t-CO <sub>2</sub> e	457.26	451.64	350.31	
	航空機および自動車等での出張・移動に伴うGHG排出量	千t-CO <sub>2</sub> e	2.57	2.60	2.08	
	大気	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量	t-CO <sub>2</sub>	75,775.65	80,673.02	53,825.92
		メタン(CH <sub>4</sub> )排出量	t-CH <sub>4</sub>	1.81	1.88	1.25
		一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)=亜酸化窒素排出量	t-N <sub>2</sub> O	3.05	3.13	2.49
		六フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )排出量	t-SF <sub>6</sub>	0.00	0.00	0.00
		酸化窒素(NO <sub>x</sub> )排出量	t-NO <sub>x</sub>	12.76	14.82	2.66
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )排出量		t-SO <sub>2</sub>	0.00	0.00	0.00	
硫黄酸化物(SO <sub>x</sub> )排出量		t-SO <sub>x</sub>	0.00	0.00	0.00	
揮発性有機化合物(VOC)排出量		t-VOC	0.00	0.00	0.00	
一酸化炭素(CO)排出量		t-CO	0.00	0.00	0.00	
オゾン層破壊物質(ODS)排出量		t-ODS	0.00	0.00	0.00	
微粒子状物質(PM)排出量		t	0.29	0.33	0.09	
エネルギー	エネルギー消費量合計(ギガジュール換算)	GJ	1,276,105.27	1,276,483.78	868,796.67	
電気	電力使用量	MWh	63,806.41	63,083.96	48,252.44	
	再生可能エネルギー使用量	MWh	0.00	1.00	1.00	
	自社発電量	MWh	0.00	0.00	0.00	
燃料	石炭・褐炭使用量	千t	0.00	0.00	0.00	
	都市ガス使用量	千m <sup>3</sup>	243.93	204.32	183.18	
	LPG使用量	千m <sup>3</sup>	35.24	34.86	33.52	
	灯油使用量	千L	371.43	405.68	362.19	
	A重油使用量	千L	17.46	17.15	17.17	
	ガソリン使用量	千L	9,059.71	9,398.02	9,273.76	
	軽油使用量	千L	7,834.50	7,733.23	1,018.56	
	オートガス使用量	千L	9.01	11.82	11.49	
	ヘリ燃料使用量	千L	44.32	51.68	60.57	
水	水資源投入量(取得量)	千m <sup>3</sup>	198.54	201.18	166.82	
	うち地方自治体水	千m <sup>3</sup>	195.19	192.52	165.86	
	うち地表水	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	うち地下水	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	うち塩水	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	うち雨水	千m <sup>3</sup>	3.35	8.66	0.96	
	製造使用水量	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	リサイクル水量	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	リサイクル比率	%	0.00	0.00	0.00	
	水消費量	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	排水量	千m <sup>3</sup>	198.54	201.18	166.82	
液体廃棄物排水量	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00		
紙	紙消費量	t	515.13	518.16	379.24	
	紙リサイクル量	t	179.86	164.53	175.64	
車両	低燃費車導入率	%	83.81	76.15	68.50	
グリーン購入	グリーン購入率(オフィス事務用品関係)	%	73.81	83.76	90.16	
廃棄物	総廃棄物量	t	6,034.37	5,797.31	4,842.72	
	うち産業廃棄物量	t	3,670.30	3,444.85	2,602.88	
	うち一般廃棄物量	t	1,441.95	1,444.64	1,546.45	
	うち廃棄物回収(リサイクル)量	t	922.12	907.82	693.39	
	有害廃棄物量(PCB含有電気機器)	t	0.00	0.53	1.29	

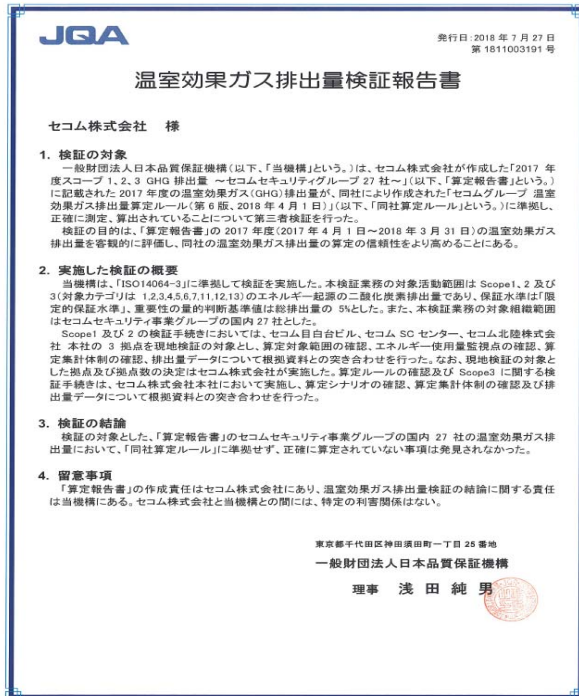
分野	項目	内訳	単位	セキュリティ事業グループ ※1		
				2017年度	2016年度	2015年度
環境	汚染	有害物質漏流回数	回	0	0	0
		有害物質漏流量	t	0	0	0
	コンプライアンス	環境違法罰金回数	回	0	0	0
		環境違法罰金額	円	0	0	0
	マネジメント	ISO14001 認証サイト	箇所	39	35	2
	ガバナンス	GHG排出量第三者検証スコープ1,2 ※2		取得	取得	取得
		GHG排出量第三者検証スコープ3 ※2		取得	取得	取得
	原単位	売上高(百万円)あたりのCO2排出量(スコープ1+2)	t-CO2/百万円	0.161	0.174	0.115
		1従業員あたりのCO2排出量(スコープ1+2)	t-CO2/人	2.89	3.11	2.42
		1ギガジュールあたりのGHG排出量(スコープ1+2)	t-CO2e/GJ	0.060	0.064	0.063
		四輪車両1台あたりのCO2排出量	t-CO2/台	6.72	6.84	4.75
		売上高(百万円)あたりの水資源投入量	m <sup>3</sup> /百万円	0.422	0.435	0.349
		1警備契約あたりの水資源投入量	L/件	85.39	89.93	103.91
		売上高(百万円)あたりの総廃棄物量	kg/百万円	12.83	12.53	10.14

温室効果ガス排出量は、毎年報告年度のCO2換算係数を用いて算出しています。

※1 セキュリティ事業グループとは、CO2排出量削減をKPI(主要業績評価指標)とする以下の27社です。  
ただし、2015年度は株式会社アサヒセキュリティを除く26社の報告となります。

- ・セコム株式会社
- ・セコムジャスティック株式会社
- ・セコムスタティック西日本株式会社
- ・セコム上信越株式会社
- ・セコムジャスティック上信越株式会社
- ・セコムスタティック琉球株式会社
- ・セコム北陸株式会社
- ・セコムジャスティック北陸株式会社
- ・セコムテクノ上信越株式会社
- ・セコム山梨株式会社
- ・セコムジャスティック山梨株式会社
- ・セコムテック山陰株式会社
- ・セコム三重株式会社
- ・セコムジャスティック山陰株式会社
- ・セコムアルファ株式会社
- ・セコム山陰株式会社
- ・セコムジャスティック高知株式会社
- ・セコム工業株式会社
- ・セコム高知株式会社
- ・セコムジャスティック宮崎株式会社
- ・株式会社アサヒセキュリティ
- ・セコム宮崎株式会社
- ・セコムスタティック北海道株式会社
- ・セコム琉球株式会社
- ・セコムスタティック東北株式会社
- ・セコム佐渡株式会社
- ・セコムスタティック関西株式会社

※2 検証報告書



2017年度環境会計 — セキュリティ事業グループ —

セコムでは、環境保全に要した投資額・費用と効果を定量的に把握して、より適切な環境保全活動を行うために「環境会計」に取り組んでいます。

- ・環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」に準拠して、作成しています。
- ・環境保全効果は、セキュリティ事業グループ27社における直接的なインプットとアウトプットの合計で、「将来の見なし削減効果」や「製品の省電力化によるお客様ご使用時の削減効果」は含みません。
- ・2016年度から(株)アサヒセキュリティがグループに加わりました。2015年度は26社、2016年度、2017年度は27社の報告となります。

○環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取り組み内容	環境保全コスト	
		投資額	費用額※
事業エリア内コスト	①公害防止 —大気汚染、騒音、振動防止等	0	51,833
	②地球環境保全 —温暖化、オゾン層破壊防止等	189,348	54,557
	③資源循環 —資源の効率的な使用、リサイクル等	0	179,341
上流・下流コスト	低燃費車への代替	0	0
	車両燃料使用量の削減 光熱使用量の削減	0	0
	省資源・ペーパーレス化 廃棄物処理・処分	189,348	54,557
管理活動コスト	グリーン調達、グリーン購入	0	0
	サプライチェーンへの働きかけ	0	0
	機器の回収、リペア・リサイクル	0	221,827
研究開発活動	広告、教育、事業所緑化等	0	12,541
社会活動コスト	環境保全に資する製品の研究開発等	0	0
環境損傷対応コスト	地域環境支援、緑化、寄付等	0	260
その他のコスト	自然修復、損害賠償等	0	0
合計	排出権取引(東京都CAP & TRADE)ほか	0	0
合計		189,348	568,018

※費用額には、減価償却費を含んでいます。

○環境保全効果

分類	環境パフォーマンス(単位)	2017年度	2016年度	2015年度
事業活動に投入する資源	総エネルギー投入量(GJ)	1,276,105	1,276,903	868,797
	水資源投入量(千m <sup>3</sup> )	199	201	167
	紙消費量(t)	515	518	379
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> e)	534	81,533	54,696
	窒素酸化物排出量(kg)	12,762	14,823	2,657
	微粒子状物質(PM)排出量(kg)	292	332	90
	排水量(千m <sup>3</sup> )	199	201	167
	総廃棄物量(t)	6,034	5,797	4,843

<主な温室効果ガス削減活動と効果(当社推定によるCO2削減量)>

(単位:トン)

主な取り組み内容	2017年度	2016年度	2015年度
車両の低燃費車化	-174	-367	-133
複合機導入	-26	-28	-30
PCのシンクライアント化	-7	-18	-31
空調機入替え	-268	-233	-191
LED照明導入	-31	-128	-243
合計	-506	-775	-628

○環境保全対策における経済効果

(単位:千円)

分類	主な取り組み内容	2017年度	2016年度	2015年度
収益	有価物の売却益	9,585	8,301	7,843
費用削減	省エネルギーによる費用削減額	24,200	32,731	27,139
	リサイクルによる機器調達費用の削減額	333,294	357,043	354,925
	電子化に伴う費用削減額	245,846	230,559	203,267
合計		612,925	628,634	593,174